

第5期第5回横浜市子ども・子育て会議放課後部会 会議録	
日 時	令和4年2月15日(火) 18時30分～20時
開催場所	横浜市庁舎 18階 みなと4・5
出席者	明石要一部会長、青柳寛子委員、辺見伸一委員、宮崎良子委員、松本豊委員、水島貴志委員、宮永千恵子委員
欠席者	青山鉄兵副部会長、池田浩久委員
開催形態	公開(傍聴者3人)
議 題	<議事> 横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討について
<p><議事></p> <p>横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討について (事務局) 資料5から8に基づき説明</p> <p>(辺見委員) 私もあるキッズクラブの評議員になっています。キッズクラブがコロナ禍で運営に関するいろいろな問題点もある中、何とか子どもを守るために工夫しながら進めているなど思っています。ただ、今までも話はありましたが、低学年のお子さんはクラブを利用しているが、高学年のお子さんは、ほんの数名という状況です。高学年のお子さんになってしまうと、塾等もあり、利用できないというより、利用しないのかもしれない。ただ、低学年だけだと、キッズクラブ自体の運営も大変なところも出てくるのかなと思っていますので、よい方法があればと思っています。</p> <p>(宮崎委員) 予算のことで、キッズクラブと児童クラブで金額が随分違うと思いますが、その理由を教えてください。</p> <p>(事務局) 現状、キッズクラブは339クラブ、児童クラブは224クラブあり、事業の位置づけも異なっています。児童クラブは、留守家庭児童を預かる場であるのに対し、キッズクラブは全児童を対象とし遊びの場も加えて実施していることから、利用の人数も多く、予算額も多くなっております。放課後児童健全育成事業として、生活の場と実施している部分については、キッズクラブも児童クラブも同じになっています。</p> <p>加えて、キッズクラブでは、今回、新区分を導入したことにより、かなり区分2の利用児童が増えたため、予算も増えています。1クラブ当たりの区分1、区分2の利用児童も含めるとかなり児童クラブとキッズクラブは差があります。児童クラブには、独自の加算等も入れていますので、決して児童クラブが充実していないということではなく、キッズクラブと児童クラブはそもそも考えが違う部分があるということをお理解いただければと思います。</p>	

(宮永委員) 今回、医療的ケア児の受け入れを行います。実際の受け入れの申請は4月ぐらいからされるのでしょうか。また、実際どれくらいの申請があると見込まれているのか、看護師の配置等についても教えてください。

(事務局) 医療的ケア児の受け入れにつきましては、国の補助金を使っており、上限約400万の人件費の補助を、1クラブ分計上しています。予算上は1クラブですが、状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。まずは利用したいという御相談があった場合に、私どもが間に入って支援しながら、試行的に実施させていただきます。事例を積み重ねる中で、しっかりと、どのクラブでもゆくゆくは受け入れができるようにしていきたいと考えています。

(宮永委員) アンケートの意見で、医療的ケア児の受け入れに関しては、事業者さん方が皆さん不安に思っているんじゃないかと感じました。学校でも受け入れが始まって、支援の仕方、ガイドラインが出ていると伺っておりますので、ぜひキッズクラブの運営の方にも分かりやすく、説明していただけたらと思います。

(松本委員) こども青少年局の皆様がこのようにアンケート、特に自由記述のアンケートをまとめるというのは大変な苦勞だと思います。それを、集約、分類し、318件の内容についてこのようにしていただけたというのは素晴らしいことだと思っています。また、先ほどの事務局の説明にもありましたが、取り上げられなかった意見についても参考ということで、今後皆さんで目を通していただけたということで、ぜひそれをお願いしたいと思います。

質問ですが、現場の皆様には、こども青少年局の取組が伝わっているのか、また、アンケートの意見が反映されているということを現場の皆さんが実感できるような報告はあるのでしょうか。

現場に伝えることの努力も大事にいただけると、皆様の取組が気持ちとして伝わるのかなというところがあります。

(明石部会長) 私も、このアンケートの結果を見て、現場の声が届いていないという意見が結構ありましたが、今回、作業部会でいろんな現場の方の意見が非常に参考になりました。そういった意見を参加してくれた方にフィードバックをしてけると多分リアリティーがあると思います。

(事務局) 現場の皆様お一人おひとりに、私どもも届けたいと思いつながら、検討会や放課後部会も開催させていただいています。実際のところ、なかなか我々の思いというのを全ての方に伝えるというのは難しいですが、キッズクラブについては法人連絡会を年に2回開催し、見直しの内容を説明させていただいています。児童クラブもキッズクラブも常に、見直しの内容については、部会が

終わるたびに、通知という形でお知らせをさせていただいています。

また、放課後部会は公の審議会ですので、会議の内容は、ホームページでも公開させていただいております。我々が皆さんの意見を伺ってこういった予算も組立られているかというのは、これからも引き続き丁寧に繰り返し御説明していきたいと思えます。

(青柳委員) アンケートに関しては、全員のことを全て聞いて一人ひとり反映させるというのが難しく、市から現場の職員に伝えることも難しいところがあって、御苦労されるのではないかなと個人的には思いました。ただ、すごく意欲があって、ホームページを自分で見に行っている方もいると思うので、ホームページで公開というのは続けてほしいと思えます。

質問ですが、夏の利用者が増えると職員の数が、どこのクラブも必要になってくると思えます。人材募集もバックアップしてくれるということで、SNS等の活用の記載もありますが、具体的な対策がありましたら、教えてください。

(事務局) 人材確保はこれまでの部会でも検討会でも課題として挙げられていましたが、一番解決策が難しいところです。来年度は、人材募集のホームページの改善、チラシの配布先を増やす、SNSの活用の検討等を行いまして、募集があるということをどうやって興味ある方に届けていくかというところをテーマにやっていきたいと思っています。

(松本委員) 私もSNSについて意見を以前の検討会で言わせていただきましたが、逆に現場の皆様からは、誰でもウエルカムのような状態で募集をかけることへの不安があり、やはり知っている人とか、それから友達の子とか人脈的な保障があるところも大事だと検討会で意見が出たように思っていますので、ぜひ、そのことも含めて対策を考えていただければと思えます。

(水島委員) 皆さんがおっしゃるように、アンケートで現場の人たちの声を拾っていただき、それを反映させていただいているというのがとてもいいなと思えました。

その中で、先ほども異年齢交流の場ということでもお話がありましたが、本校のキッズの様子を見ても、やはり5、6年生はほとんど登録が1桁か、利用していないという子がほとんどなのではないかと思えます。その中でも3年生、4年生あたりがいわゆるリーダーというか、一番上になって、異年齢の、特に夏休みとかにイベント等をやるときに中心にやっているという様子を見ているので、その中で年長者が中心になって、工夫しているのではないかと見えています。

また、今後、一番不安に思っているのは、場所の問題です。今もコロナ禍で場所をできるだけ分散させるようにしてやっていますが、これから小学校の35人学級がどんどん上に上がっていくと、今、2つ目の部屋として使っている部屋も、もしかしたら教室にせざるを得ない学校と

かも出てくるのではないかと思います。先ほどの人材確保と、場所の問題も、今後また検討していただけるとありがたいなと思っています。

(明石部会長) 皆さんと同じ意見で、意見に対する考え方・対応の資料6が非常に貴重だと思っています。分布を見ますと、30人以上意見が出たのが大体決まっています。非常にこの資料は貴重で、どこに関心があるかという、主に要支援と医療的ケアとか、将来像に対して非常に関心が高いというのをまず押さえていただきたいというのがあります。

もう一つはキッズクラブと児童クラブで、もう少しいい意味での交流をしていただくと良いです。

また、財政の厳しい中に、よくぞこれだけ予算を増やしてくれたのはうれしいです。

遊び場の主人公は子どもですが、お子さんたちが、このコロナ禍の2年間で相当自信を失っているかもしれない。いま一度集団づくりに力を入れてくれると、保護者としては助かるかなというのがあります。コロナ禍の中で、なかなか遊べないが、放課後の中で配慮しながらちょっと元気になってもらう。特に集団的な交わりが難しいお子さんに対してサポートしてくれるといいかなというのがあります。

また、これまでの人材育成から含めて、資料8の予算案の件と質の向上に向けた取組について、これだけ行政の方が本気でやってくれるというのはうれしくて、やっぱりよくぞここまで検討してもらったと思います。

(辺見委員) これだけの予算も組んでいただけるということになると、放課後関係の事業者さんが、クラブの中で子どもたちを見守っていただけるということの充実になれば一番いいのかなとは思っています。

7月、8月の利用料を500円上げますが、それがどうなってくるか、うまく波に乗れるよう、事務局が進めていただければいいのかなと思っています。

(宮崎委員) 資料6の意見を読ませていただくと、現場の意見をもっと聞いてほしいということはあると思います。賛成意見、反対意見いろいろあると思うので、全ての方に納得していただくことは無理だと思いますが、ぜひこれからも現場で活躍とか御苦労されている方々の意見を十分吸い取っていただきたいなと思います。また、今後検討していただきたいこととしては、高学年の利用をどうしたらいいかということもあります。

それから、学童との兼ね合いなども考えていく必要があるのかなと思いました。

また、キッズクラブの8時半のスタートが8時になることについて、やはり30分繰り上がるだけでも、スタッフの方々の御苦労はとて多くなると思います。現場のスタッフの方の御苦労をな

るべく減らすような形で検討していただけたらいいかなと思います。

(明石部会長) 本件の検討事項につきましては部会長専決でいくとして、私と事務局で確認を行い、子ども・子育て会議総会に報告するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

(明石部会長) 本日の議事は以上をもちまして全て終了いたします。

以上

資料	<p>[議案資料]</p> <p>資料5 横浜市放課後児童健全育成事業の質の向上に関する検討について</p> <p>資料6 意見一覧及び意見に対する考え方・対応</p> <p>資料7 放課後児童育成施策の推進にあたっての基本的な考え方の改訂(案)</p> <p>資料8 令和4年度こども青少年局予算概要(抜粋)</p> <p>[参考資料]</p> <p>資料1 横浜市子ども・子育て会議 放課後部会 委員名簿</p> <p>資料2 横浜市子ども・子育て会議 放課後部会 事務局名簿</p> <p>資料3 横浜市子ども・子育て会議条例</p> <p>資料4 横浜市子ども・子育て会議運営要項</p>
特記 事項	